

「地域環境保全功労者」環境大臣表彰を受賞

佐藤孝則

6月8日（水）、東京都内のグランドアーク半蔵門で、NPO 法人環境市民ネットワーク天理（代表：佐藤孝則）が、環境大臣より「地域環境保全功労者」表彰を受賞した。

このNPO法人は、「地球温暖化防止京都会議（COP3）」が京都で開催されていた平成9年12月17日に発足した。そして「市民・市民団体、事業者、行政の3者が、天理市及び周辺地域の環境保全に協働して取り組む」ことを目的に、活動をはじめた。本年12月で満19年を迎える。

その間、天理市内を流れる布留川で毎年清掃活動をおこない、本年5月15日（日）には第17回目を迎え、6月4日（土）には第20回目のゲンジボタル観察会をおこなった。私たちは、この布留川清掃がゲンジボタルの再生を強く促したと考えている。また、晩秋には街路樹の落葉を集め、それを堆肥化して果樹園や畑の肥料としたり、強剪定によって枯れはじめた街路樹を行政に伝えて再生させたりしてきた。さらに、これらの成果・経過を隔年に実施している「環境展」のなかで随時紹介し、天

理市域の環境保全について広く市民に公開してきた。

今回の受賞は、このような活動が地域の環境保全にとって重要であり、しかも天理市内の多くの団体・組織の「一手一つ」によっておこなわれていることが、高い評価につながったものと考えている。

また、平成19年3月、奈良ロータリークラブからの「友愛大賞特別賞（環境保全推進賞）」、同年11月、天理市からの「環境推進功労賞」、さらに平成20年6月、奈良県からの「環境保全功労賞」の受賞が、今回の受賞の伏線にあったのではないかと考えている。

いずれにおいても、この受賞は、環境市民ネットワーク天理の会員の方々だけでなく、市民団体、事業者、行政を担う幅広い天理市民の方々のご尽力の賜物であり、お蔭だと考えている。もちろん、おやさと研究所や諸先生方からのご支援・ご協力がなければ、このような活動を長く続けることはできなかったとも考えている。

末筆ではあるが、私たちの環境保全活動に協働して取り組んでこられた皆さまに、謹んでお礼を申し上げますとともに、幸甚なる謝意を表する次第である。

平成28年度「公開教学講座」

**現代の事情に対する天理教の思案**

— 教えと実践、天理教学からの視点 —

おやさと研究所は、天理教学研究の一翼を担う上からも、現代社会の諸問題に対する実践教学的取り組みを行う役割が期待されています。今日、私たちの生きるこの世界においては様々な問題があり、それらは「現代の事情」と言ってもよいでしょう。これは個人の責任に還元できるものではなく、社会全体の問題として取り組むと同時に、お道の教理の上からもしっかりと思案して、理論的・実践的にその解決をはかっていくことが求められます。

そこで、平成28年度の公開教学講座のテーマを「現代の事情に対する天理教の思案—教えと実践、天理教学からの視点」ということにいたしました。皆さまのご来聴を心よりお待ちしております。

**\*\*\*ご注意\*\*\***

**今年度の講座は時間・場所が次のように変更になります。**

お間違えの無いよう、ご注意のほどお願いいたします。

**時間 9月から来年3月までの毎月25日 13:00～14:30**

**場所 天理大学研究棟3階第一会議室**